

2014 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 14:50~15:50 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

I つぎの文章を読み、下線部分(1)～(8)について下記の【設問】に答え、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。(20点)

ゲルマン民族の侵入や西ローマ帝国滅亡などの混乱によって、西ヨーロッパでは次第に学問や教育が衰退していった。やがて8～9世紀に西ヨーロッパの多くの部分を統一したカール大帝は、ラテン語による文芸復興を行い、⁽¹⁾宮廷に学者を招くなどして、⁽²⁾学問を振興する政策を進めた。いっぽうイスラーム世界は古代ギリシアの学問を受容して、豊かな文明がさかえた。

11～12世紀ころから十字軍の遠征、レコンキスタの進展、遠隔地交易の活性化⁽³⁾などで、西ヨーロッパの人々はイスラームに接触する機会が増えた。⁽⁴⁾翻訳などを通して古代ギリシアの学問の受容が進んで文化が発達し、これは12世紀ルネサンスと呼ばれることもある。スコラ学⁽⁵⁾の発展に貢献したアベラールが活動したパリをはじめとして、ヨーロッパの各地では次々に大学が成立した。パリ大学やオックスフォード大学は神学で知られたが、大学で学ばれたのは神学だけではなく、⁽⁶⁾南イタリアに建てられた最古の大学の一つは医学で知られ、法学で有名になった大学もあった。

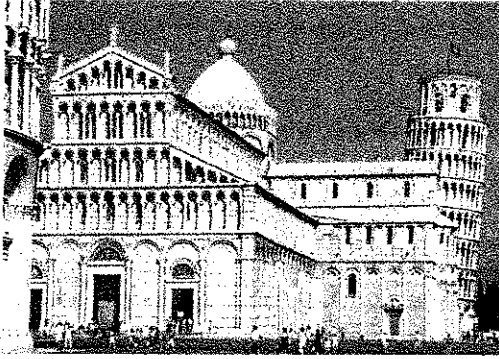
14～15世紀になってオスマン朝に圧迫されるなどしてビザンツ帝国が衰退すると、そこから多くの学者がイタリアに移住して古典教育に大きく貢献し、ルネサンスがさかえる一因となった。そこでは古典の復興が進められるいっぽう、各地の言葉での執筆も進められた。建築では古代の要素をとりいれたルネサンス様式⁽⁷⁾が成立し、彫刻や絵画などの芸術の諸分野でも豊かな実りがあった。またのちの政治思想に影響を与える著作も生まれた。⁽⁸⁾イタリアと密接な関係があり、経済的に繁栄していた北方の諸都市でもルネサンスの動きは起こり、それはやがてほかの地域にも拡大していった。

【設問】

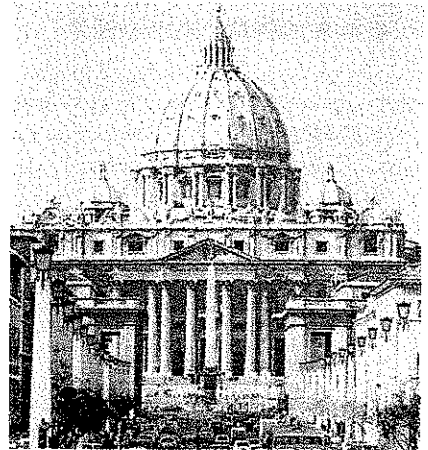
- (1) a. この文芸復興は何と呼ばれるか。
b. カール大帝に招かれ、この文芸復興の中心となったイングランド出身の人物の名を答えよ。
- (2) a. アッバース朝のバグダードでは、ギリシア語の文献をアラビア語に翻訳する動きがすすんだ。これを奨励し、アッバース朝黄金時代を築いた5代目のカリフの名を答えよ。
b. イスラーム世界でアリストテレスの思想を継承してイスラーム哲学を発展させ、『医学典範』を著すなど医学の分野にも貢献した人物の名を答えよ。
- (3) 遠隔地交易や地域経済がさかんになって各地で都市が発達し、都市同盟も結ばれた。北イタリアの諸都市が神聖ローマ皇帝のイタリア南下政策に対して12世紀に結成した同盟の名を答えよ。
- (4) 6世紀に西ゴート王国の都となり、イスラーム支配下でも拠点都市の一つとしてさかえ、キリスト教勢力が再征服してからはアラビア語文献の翻訳の中心地となったイベリア半島の都市の名を答えよ。
- (5) スコラ学のなかで普遍論争とよばれる議論があったが、そのなかでアベラールが唱えた論は何と呼ばれるか。
- (6) この大学の名を答えよ。

(7) その代表作の一つで、ミケランジェロが建築に関わった建造物を、つぎの
ア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア



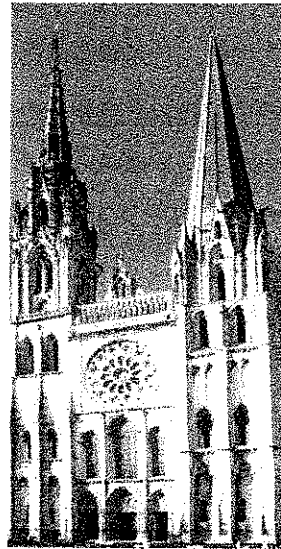
イ



ウ



エ



(8) プリュージュやガンなどの都市を中心として、毛織物産業で繁栄した地方の名
前を答えよ。

II つぎの文章を読み、下線部分(1)～(15)について下記の【設問】に答え、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。(30点)

産業革命後、資本主義体制のもとで大規模な機械制工場で働く労働者が増加した。⁽¹⁾資本家は利潤の追求を優先し、労働者は劣悪な労働条件の下で働かなければならなかったため、多様な問題が発生した。社会主義は、このような問題の解決を目的とする思想である。⁽²⁾マルクスとエンゲルスは、社会主義社会の建設のため労働者の国際的連帯を呼びかけ、1848年に『共産党宣言』を出した。国際的連帯の最初の試みとして、1864年に各国の社会主義者がロンドンに集まって第一インターナショナルを結成した。マルクスが指導者となったが、内部対立などが原因で、第一インターナショナルは1876年に解散した。⁽³⁾

工業化が進んだ国々では、19世紀以降、労働者や社会主義者の運動が政治への影響力を強めた。イギリスでは、労働者たちが19世紀前半から選挙権を求めて運動をおこした。⁽⁴⁾19世紀後半には、知識人を中心とした社会主義団体や労働組合が政党の設立を試み、20世紀初頭、労働党が成立した。⁽⁵⁾

フランスでは、二月革命の臨時政府に参加した社会主義者たちが中心になって労働者の保護のための国立作業場の設立を推進したが、⁽⁶⁾目的を達成することはできなかった。1871年には、労働者などを中心にパリ=コミュンがつくられたが、政府によって鎮圧された。19世紀末以降、労働組合のゼネストによって社会革命を実現しようとした運動が盛んになったが、⁽⁷⁾議会政治参加をめざす社会主義諸団体はフランス社会党を20世紀初頭に結成した。

ドイツでは、1875年に社会主義政党であるドイツ社会主義労働者党が成立したが、1878年に皇帝狙撃事件がおけると社会主義者鎮圧法が制定された。その後、社会主義者鎮圧法は廃止され、⁽⁸⁾ドイツ社会主義労働者党はドイツ社会民主党と改称して躍進した。19世紀末には、ドイツ社会民主党の中に革命ではなく議会主義的改革をめざす動きがあらわれた。⁽⁹⁾

アメリカ合衆国でも、19世紀後半には労働運動が盛んになり、労働運動指導者や社会主義者への弾圧や排斥がおこなわれた。しかし、ニューディール政策において、⁽¹⁰⁾労働者の団結権と団体交渉権を保障する法律が制定された。

社会主義が国家の体制となった最初の国はロシアである。1905年の第一次ロシア革命は失敗に終わったが、第一次世界大戦中の1917年、各地の労働者、兵士、農民などが革命を推進し、レーニン、トロツキーらが率いる武装蜂起によって社会主義政権が樹立された。⁽¹¹⁾ 1922年には、ソヴィエト社会主義共和国連邦（ソ連）が結成された。レーニンの後継者となったスターリンは、重工業を中心に推進する社会主義体制建設をめざし、農業においても集団化と機械化を推進した。⁽¹²⁾

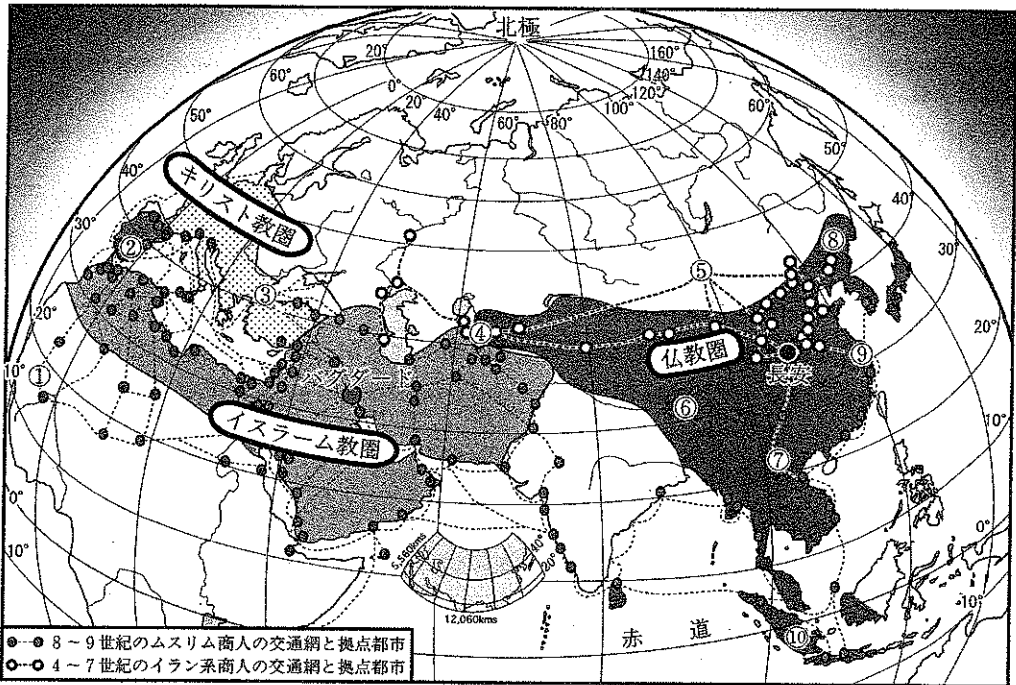
第二次世界大戦後、ソ連の影響のもと、東欧諸国が社会主義を採用し、1949年、ソ連は東欧6カ国との間に経済協力機構であるコメコンを設立した。アメリカ合衆国を中心とするいわゆる西側諸国はソ連の封じ込め政策をとり、冷戦が世界を分断した。⁽¹³⁾ しかし、1970年代以降、ソ連では社会経済的停滞傾向が目立ち、体制も硬直化した。⁽¹⁴⁾ ゴルバチョフのもとで改革がすすめられたが、1991年にはソ連共産党が解散した。⁽¹⁵⁾ 共和国の多くも独立を宣言したため、同年、ソ連は解体した。

【設問】

- (1) 1810年代、機械が仕事を奪ったとして手工業者を中心にイギリスの織物工業地帯でおこった機械打ちこわし運動を何というか。
- (2) 労働組合や協同組合の設立に尽力し、1825年から1828年に、アメリカで理想的協同社会を建設しようとしたが失敗したイギリスの社会主義思想家は誰か。
- (3) マルクスと対立し、第一インターナショナルを除名されたバクーニンがその際主張した思想を何というか。
- (4) この運動に参加した人々がつくった請願書を何というか。
- (5) 1884年に漸進的な社会改革をめざしてつくられ、バーナード=ショーなどが活躍した団体を何というか。
- (6) 臨時政府でこの政策を中心になって推進した社会主義者は誰か。
- (7) この運動を何というか。
- (8) このときの皇帝は誰か。
- (9) 19世紀末のドイツ社会民主党内で、この考え方の理論的指導者は誰か。
- (10) 1935年につくられたこの法律を、提案者の名前をとって何というか。

- (11) 1918年3月、この政権は、不利な条件でドイツと講和して戦線を離脱した。
この講和条約を何というか。
- (12) 土地や農具を共有し、農民が共同で経営する農場を何というか。
- (13) この6カ国のうち、1948年のクーデタで共産党が実権を握った国はどこか。
- (14) アメリカ合衆国によるヨーロッパの経済復興計画を、提案した国務長官の名前
をとって何というか。
- (15) ゴルバチョフが打ち出した新しい政策の一つに情報公開がある。この情報公開
政策のことを何というか。

III つぎの地図は、8世紀における世界宗教圏を示したものである。この地図を解説する下記の文章を読み、下線部分(1)～(5)についての【設問】(1)～(5)に答えなさい。また、地図上に記した数字①～⑩について説明した【設問】(6)～(15)に答え、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。(30点)



8世紀の3つの世界宗教圏

アフロ=ユーラシア大陸は、4世紀から7世紀にかけて大規模な人間の移動と政治の混乱の時期をむかえた。⁽¹⁾ この混乱によって既存の血縁や地縁による社会組織は大きな打撃を受け、従来の秩序が揺らぎ人々は孤立化を深めた。そのために、人間を普遍的に結びつけることのできる新たな絆が求められ、世界宗教がアフロ=ユーラシア大陸に広がっていった。その結果、8世紀になると、上の地図のように、3つの世界宗教圏が誕生する。⁽²⁾ すなわち、アフロ=ユーラシア大陸西部のキリスト教圏、中央部・西部のイスラーム教圏、東部の仏教圏である。

世界宗教とは、出身地域や民族、身分、生業、性などの違いにかかわらず誰でも信仰できる普遍的な宗教のことである。⁽³⁾ 世界宗教は、従来の多くの宗教のように集団を

救済するのではなく、孤立した個人の救済をめざしたために、個人の心をとらえることができた。そのために、世界宗教の浸透を通して、個人に支配のおよぶ国家権力の形成が可能になっていく⁽⁴⁾。また、世界宗教圏は、アフロ=ユーラシア大陸にまたがる⁽⁵⁾大きな交通圏と商業圏を生みだした。世界宗教圏の形成によって、世界史は新しい段階に入ったのである。

【設問】

- (1) この時期にユーラシア西部ではゲルマン人が欧州西南部へ移動し、ユーラシア中央部ではエフタルがイラン高原北部やインド北西部に移動した。同様に、ユーラシア東部も大規模な人間の移動によって混乱期をむかえた。中国華北を主要舞台とする4世紀初から5世紀半ばにかけての混乱期の時代名称を漢字で記せ。
- (2) 8世紀の世界宗教圏の多くは後代に継承されるが、変化も少なくない。たとえば、中国や朝鮮、ベトナムでは儒教が力を増し仏教と対抗するようになる。仏教を批判的に吸収して宋学を大成した中国南宋の儒家を、尊称ではなく姓名で漢字で記せ。
- (3) 世界宗教に対し、特定の地域や民族に信仰される宗教を民族宗教という。キリスト教やイスラーム教の源流をなし唯一神ヤハウェを信仰する民族宗教の名称を記せ。
- (4) 弥勒菩薩の生まれ変わりと称して中国史上唯一の女性皇帝となった武則天（則天武后）は、仏教の普及を背景に初めて権力を掌握することのできた為政者の一人である。武則天が仏教に依拠して建国した国家の名称を漢字1字で記せ。
- (5) 8世紀におけるアッバース朝の誕生とバグダードへの^{てんと}奠都は、前ページの地図のように、バグダードを中核に従来の内陸隊商路と新たな沿海航路を連結するムスリム商人の広域商業網を生みだした。このようなムスリム商人のインド洋における商活動を可能にした三角帆の帆船の名称を記せ。
- (6) 地図中の①は、ウマイヤ朝の北アフリカ征服に対抗して、7、8世紀に西アフリカのセネガル川とニジェール川の上流域に建国した国家の都が置かれた場所である。その国家の名称を記せ。

- (7) 地図中の②は、イベリア半島におけるイスラーム王朝の最後の都となった場所である。その都の名称を記せ。
- (8) 地図中の③は、キリスト教圏の中核都市であるとともに東ローマ帝国の都となった都市を示す。8世紀におけるその都市の正式な名称を記せ。
- (9) 地図中の④は、ムスリム商人が台頭する以前にユーラシア大陸内陸部の商活動を主導したイラン系商人の出身地域である。その商人の名称を答えよ。
- (10) 地図中の⑤は、8世紀から9世紀にモンゴル高原に建国した遊牧国家の都が置かれた場所である。マニ教を国教としたその国家の名称を記せ。
- (11) 地図中の⑥は、7世紀から9世紀にチベット高原に建国した遊牧国家の都が置かれた場所である。その国家の名称を漢字で記せ。
- (12) 地図中の⑦は、雲南に建国したチベット=ビルマ系の国家の都が置かれた場所である。8世紀から9世紀に最盛期を迎えた。その国家の名称を漢字で記せ。
- (13) 地図中の⑧は、7世紀末から10世紀に中国東北部からロシア沿海州、朝鮮半島北部の地域に建国した国家の都の一つが置かれた場所である。その国家の名称を漢字で記せ。
- (14) 地図中の⑨は、8世紀に昇州とよばれた地方都市である。その昇州は、5世紀から6世紀には南朝諸王朝の都だった。多数の仏教寺院の存在で著名なこの南朝の都の名称を漢字で記せ。
- (15) 地図中の⑩は、7世紀にスマトラ島に建国した仏教国の都が置かれた場所である。その国家の名称を記せ。

IV つぎの文章を読み、空欄（ A ）～（ D ）に適切な語句を入れ、また下線部分(1)～(6)について下記の【設問】に答えて、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。(20点)

サマルカンドは、イスラーム化した中央アジアの主要なオアシス都市の一つとして、現代にいたるまで重要な役割を担ってきた。

イスラーム勢力の拡大とともに、サマルカンドを含む中央アジアのオアシス地域の西部はウマイヤ朝によって征服され、アッバース朝の時代にかけてイスラーム化が進展した。アッバース朝から自立し、ブハラを首都としたイラン系のサーマーン朝⁽¹⁾の治下において、イラン=イスラーム文化が確立することとなる。他方、トルコ系遊牧集団のイスラーム化がすすんだのもこの時代といわれる。やがてイスラーム化したトルコ人の諸王朝が、中央アジアのオアシス地域を掌握した。サーマーン朝をやぶり、東・西トルキスタンを支配したカラ=ハン朝、中央アジアから西アジアに進出し、イランに本拠を置いたセルジューク朝⁽²⁾などである。

（ A ）朝がセルジューク朝から自立して勢力を拡大すると、サマルカンドは13世紀初頭からその首都となった。しかし、1220年、中央アジアに進撃したチンギス=ハンによって（ A ）朝が倒された際、サマルカンドはモンゴル軍によって徹底的に破壊された。モンゴル帝国時代、サマルカンドを含む中央アジアは、主にチンギス=ハンの次男である（ B ）の子孫によって統治された。

この荒廃したサマルカンドを再興し、自らの王朝の首都として発展させたのがティムールである。ティムールの死後、ティムール朝は分裂状態に陥ったが、サマルカンドは政治や文化の中心の一つとして繁栄した⁽³⁾。とくに第4代の君主である（ C ）によりサマルカンド郊外に天文台がつくられ、天文学や暦法が発達した。しかし中央アジアにおけるティムール朝の政権は、トルコ系遊牧集団の（ D ）族の攻撃を受けて16世紀初頭に消滅した。ティムールの子孫であったバーブルは、イランのサファヴィー朝の支援を受けていったんサマルカンドを奪回したものの、結局撤退を余儀なくされて北インドに移動し、ムガル朝を建てることとなる。⁽⁴⁾

サマルカンドは、（ D ）族の建てたシャイバーン朝の時代、首都をブハラに譲ったけれども、その主要都市の一つとしてティムール朝時代と同様、高い文化水準

を維持した。その後、19世紀後半になると、南進政策をとるロシア帝国が、中央アジアの3ハン国のうち、ブハラ=ハン国とヒヴァ=ハン国を保護国とし、コーカンド=ハン国⁽⁵⁾を併合して、オアシス地域を領域内に組み込んだ。ロシア帝国末期、ブハラやサマルカンドなどを拠点として、ムスリム住民たちの間で教育改革を中心とするジャディード運動⁽⁶⁾が展開され、中央アジアの近代化への道を開いたことは特筆に値する。

【設問】

- (1) サーマーン朝においては、アッバース朝時代のバグダードでアラビア語で著された年代記形式の世界史叙述である『預言者と諸王の歴史』が、ペルシア語に翻訳された。9～10世紀に活動した、この歴史書の著者の名前を答えなさい。
- (2) セルジューク朝において、ペルシア語で四行詩の『ルバイヤート』を著し、また数学や天文学の分野でも優れた才能を発揮した人物は誰か。
- (3) ティムールの死後、サマルカンドとともにティムール朝の中心都市の一つとなった、現在のアフガニスタン北西部に位置する都市は何か。
- (4) バブルが1526年にデリー=スルタン朝最後の王朝であるロディー朝に勝利した戦いは何とよばれるか。
- (5) 1860年代にコーカンド=ハン国の将軍ヤークーブ=ベグは、隣接する清朝統治下の新疆に進出して政権を樹立したが、その状況を受け、清朝においては有力な洋務派官僚が海防の重要性を説いて、内陸部辺境に位置する新疆の放棄を提案した。淮軍を自ら組織し、太平天国や捻軍の鎮圧において重要な役割を担った、この洋務派官僚の姓名を漢字で答えなさい。
- (6) ロシア帝国当局はこのジャディード運動を、19世紀後半にイスラーム世界で提唱されたパン=イスラーム主義の現れとして危険視し、弾圧を加えた。パン=イスラーム主義を主唱したイラン出身の思想家・活動家は誰か。